



建築人

6
2019



大阪ホンマもん

建築人

6
2019

目次

2	大阪ホンマもん
4	インフォメーション・事業案内
6	動静レポート
7	Topics
8	Gallery 建築作品紹介 沖縄給油施設新社屋 設計・監理 徳岡設計 施工 沖電工
	HOUSE O 設計 置塩淳夫建築設計事務所 施工 越智工務店
11	記憶の建築 松隈 洋 姫路市書写の里・美術工芸館 一九九四年 宮脇檀が求めた原風景
12	第63回大阪建築コンクール入賞発表
18	理事会報告 建築相談室から 編集後記

運営部門の役割(令和を迎えて)

運営部門長 岡崎 雅



運営部門は、他の事業活動を軸とした部門と異なり、本会の機構や運営に関わる方針・規定等の策定や予算執行・決算に関わる財務運営を管理しています。

メンバーは会長、運営担当副会長、各部門長及び事務局で構成されており、本会の事業活動全体を見通せる構成となっています。

人材を基礎とする公益社団法人にとって創立以来より会員増強は普遍の課題です。会員が増える事は建築士会の活動基盤の強化・安定に繋がり、事業展開も社会に大きくアピールできるものとなります。

四年前に作成したビジョンをより細かく検証し、更に新しいアイデアを盛り込んで行動に移して行けるよう見直します。より魅力ある活動を実行し、それを内外に見え化する事を通して結果として会員増強に繋がることを目指します。

時代はすでに令和に移りました。それとともに、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録なども話題となり、二〇二二年には大阪府建築士会の七〇周年を迎え、二〇二五年に大阪・関西万博が開催されるなど、流れが大阪に向いています。この流れをてこに、大阪府建築士会を大いに盛上げていくことはありませぬ。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市中央区を南北に走る堺筋沿いに建つレトロビル「風蘭ビル(旧明治屋南本町ビル)」を取りあげる。

明治屋は、明治一八年(一八八五年)に船舶への食料品納入業として横浜にて創業した。建物の設計は、東京駅の設計者でもある辰野金吾氏とともにジョサイア・コンドル氏に学んだ曾禰達蔵氏の曾禰中條建築事務所が担い、施工は竹中工務店が請負った。曾禰氏は工部大学校造家学科を卒業し工部省に入る。その後、三菱に入社し丸の内オフィス街をジョサイア・コンドル氏とつくり上げていった建築家だ。

建物の規模は地下一階・地上七階建てで、構造は鉄筋コンクリート造とされた。手の込んだデザインを施された建物はネオ・ルネサンス様式とされ、大正一三年(一九二四年)に竣工された。当時は、階に日本初の輸入食料品専門店「明治屋ストア」が入り、上層部には貸事務所と西洋料理店が併営された。竣工当時は装飾性の高いファザードであったが、改修されてシンプルなものとなった。ただし、出入口や塔屋、頂部には装飾が施され当時の趣を残している。

現在、一階は明治屋ストアからコンビニエンスストアに入替わり、看板装飾含め少し残念なものとなっている。時代が経て建物の所有者が変わると建物の行く末も分からなくなる。堺筋の通り沿いの建物がいンパウンドの影響からか、宿泊施設なども増えつつある。新しいものと古いものを両方楽しみたい。

Administration

行政からのお知らせ

建築基準法に定める完了検査の確実な受検について

大阪府全体の完了検査実施率は、平成10年の建築基準法改正以降、約38%から大幅に向上し、現在では約95%まで改善されました。しかし、全ての建築物が完了検査を受けている状況ではなく、完了検査の本来の性格からすれば十分と言えない状況にあります。平成30年4月に宅地建物取引業法が改正され、既存建物の取引時の重要事項説明において、検査済証など建物の建築及び維持保全の状況に関する書類の保存状況について書面を交付して説明しなければならないなど、ますます検査済証の重要性が高まっております。完了検査は、建築物の安全性を確保するための最後の手続きです。完了検査の重要性を改めて認識して頂き、工事監理者又は代理者の業務を行う際には、建築主に対して完了検査の必要性を十分に説明し、適切に完了検査の申請を行うことを求めているようにお願いします。

- 完了検査の確実な受検について
大阪府ホームページをご覧ください。
- 問合せ
大阪府建築行政マネジメント推進協議会事務局
(大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築安全課)
Tel.06-6210-9727

Others

その他のお知らせ

博覧会の現代的な意味と可能性 2025年大阪・関西万博の可能性を探る 大阪工業大学建築学会公開セミナー2019 6/12

博覧会のプロデュースを多く手がけられ、大阪・関西万博の誘致活動の2025年国際博覧会検討会議委員(経済産業省)等を務められた澤田裕二氏の公開セミナーを開催します。
主催 大阪工業大学建築学会
後援 大阪工業大学建築学科
大阪工業大学校友会
日時 6月12日(水) 19:00～
会場 大阪工業大学梅田キャンパス
セミナー室203
講師 澤田裕二(イベント・空間メディアプロデューサー)
参加費 無料(事前申込制)
定員 150名(但し、定員なり次第締切)
申込 <http://www.oit-kenchikukai.jp/entry>

16:00～17:30 懇親会
集合 岸和田市・まちづくりの館
定員 30名(定員に達し次第締切)
参加費 1,000円 懇親会 3,000円

建築士の会 東大阪 東大阪市文化創造館見学会 6/22 CPD3単位

東大阪市文化創造館は2019年9月1日にオープンする施設で、優れた音質空間と上質な鑑賞環境を備えた1,500席の大ホールや、300席の小ホール、音楽、ダンス、会議、研修など各種用途に利用できる創造支援室を20室設けています。また、カフェレストランを併設し、施設の前には屋外緑地を設置した総合施設です。設計者の説明・質疑応答も行いますのでぜひご参加下さい。
日時 6月22日(土)
13:30 近鉄八戸ノ里駅改札集合
14:00～16:30 見学会、質疑応答
17:00～ 懇親会
会場 東大阪市文化創造館
定員 30名(定員に達し次第締切)
参加費 1,000円 懇親会 4,000円程度

第39回大阪都市景観建築賞推薦募集 推薦期間7/1～7/31

美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺景観の向上に資し、かつ、景観上優れた建物やまちなみを表彰します。皆様から推薦いただいた建物や建物を中心としたまちなみについて審査し、賞が与えられます。
対象 大阪府域内の「建物」及び「建物を中心としたまちなみ」
建物 平成26年8月1日から平成30年7月31日までに完成したもの
建物を中心としたまちなみ 平成30年7月31日までに完成したものの受付期間 令和元年7月1日(月)～7月31日(水)
推薦方法 HP(<http://osaka-machinami.jp/>)から電子推薦してください。設計者等の自薦の方は、自薦専用書式をHPよりダウンロードし応募ください。

木造建築の現状と技術的可能性講習会 ～グローバルトレンドと将来的展望～ 7/6 CPD3単位(予定)

「木造建築の現状と技術的可能性」は、前回の木質系大スパン建築物の可能性に続き、都市における中規模建築物への木材利用促進を広範囲に進め、一般化していくために何が必要かを日本の現状と海外事例の分析により追求し、新しい技術、法制度、経済的課題などについて具体的な方策を紹介する企画です。CLT 建築物の普及障害要因とそれを克服する国際的な情報と技術、特に接合部、さらにNLT(Nail Laminated Timber)の利用メリットについても解説します。
共催 大阪府木材連合会、関西広域木造建

築普及促進協議会
日時 7月6日(土) 13:30～
会場 林野庁 近畿中国森林管理局
講師 京都大学 生存圏研究所教授 五十田博
カナダ林産業審議会日本代表 ショーン・ローラー
SMB建材(株)木構造事業本部副本部長 兼 木構造建築部長 小川嘉男
最寄駅 JR桜ノ宮駅下車西口徒歩5分
参加費 本会・共催団体会員1,000円 一般2,000円
昨年度および本年度入会会員・学生500円
定員 80名(申込先着順)

第29回全国女性建築士連絡協議会 「未来へつなぐ居住環境づくり」 7/13-14

全国女性建築士連絡協議会は、テーマを「未来へつなぐ居住環境づくり」～和の伝統技術の継承と創造～として開催いたします。基調講演では、若手や女性左官職人の育成で著名な原田宗亮氏より「和の伝統技術の継承と創造～新たなプロの育て方～」についてお話しいただき、子育てしながら女性左官職人として活動されている金澤 萌氏をゲストにお迎えしてトークセッションを行います。
7月13日(土) 13:30～17:15 CPD4単位
開会式・活動報告・被災地報告 基調講演「和の伝統の継承と創造～新たなプロの育て方～」
講師 (有)原田左官工業所 原田宗亮氏
トークセッション ゲスト 金澤萌氏 (17:30～18:30交流会参加費1,000円)
7月14日(日) 8:50～11:45 CPD3単位
分科会・全体会
会場 日本建築学会建築会館ホール、他 (東京都港区芝5丁目26番20号)
参加費 会員2,000円 会員外3,000円 学生無料
申込締切 6月7日
申込 大阪府建築士会 女性委員会まで

国際茶楼Vol.6 「グランドゼロからの出発 ニューヨーク海外研修」報告会—SDGsの視点から ニュー YORKの都市公園を読み解く— 7/19 CPD2単位(予定)

今年の2月に開催した建築士会海外研修旅行の報告会を行います。さらに、アメリカでの滞在経験のある高原浩之氏(株)HTAデザイン事務所代表、元シーザーベリー&アソシエーツジャパン執行役員・大阪事務所長)を迎え、「SDGsの視点からニュー YORKの都市公園を読み解く」と題して、パークマネージメントについての最新事例報告を実務者の視点で語って頂きます。ぜひ、ご参加下さい。
日時 7月19日(金) 18:30～20:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 50名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円

学生・大阪府建築士会新入会員 (2018年度以降入会)無料
懇親会 会費4,500円(予定)

建築課外授業Vol.4 童謡の故郷「龍野」旧城下町とうすくち醤油資料館見学 8/3 CPD4単位(予定)

童謡赤とんぼの里、白壁と醤油蔵がつづく小さな城下町「播磨の小京都」龍野を訪ねます。うすくち竜野醤油資料館から損保乃糸 資料館を見学しそめんの里で本場そうめん料理をいただきます。昼からは醤油蔵の続く街並みや白壁の美しい武家屋敷通りを街歩きします。ぜひ、ご参加下さい。
日時 8月3日(土)
9:15 JR姫路駅 集合
16:00 JR本竜野駅 解散
定員 40名(申込先着順)
参加費 会員2,500円 会員外3,000円
※交通費:本竜野～東鯉崎 往復、資料代・昼食代 含む。

第62回建築士会全国大会 北海道大会 9/21

今年の建築士会全国大会は、北海道の函館で開催致します。会員には大会登録料5,000円を補助します。大会の詳細は「建築士4月号」をご覧ください。
テーマ Re+明日のまちに輝きを
日程 9月21日(土)
会場 函館アリーナ他
※全国建築士フォーラム、歴史的建造物見学会(全国HMN協議会総会参加者対象)、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会は9月20日(金)に実施。
※地域交流見学会(エクスカーション)は9月22日(日)に実施。
申込 建築士4月号P29の参加申込書に必要事項をご記入の上、本会事務局に6月28日(金)までにご持参またはFAXかメールでご提出下さい。

木の本質を学び森と水の恵みを考える研修ツアー 10/19、10/20 CPD8単位(予定)

吉野林業発祥の地 川上村 にて木材の川上から川下までを学ぶ見学バスツアーです。380年人工美林を体験し、200年杉伐倒見学、巨大ダム内部見学、吉野杉の家見学など盛りだくさんな内容です。川上村企画サポートによる自然を堪能するツアーです。
日時 10月19日(土) 10:00
大和上市駅集合(時間厳守)
場所 奈良県川上村にて
定員 35名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員22,000円
後援団体会員24,000円 一般26,000円

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価等
(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

既存住宅状況調査技術者講習 新規講習7/11 CPD5単位 移行講習6/5 CPD3単位

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられました。調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士の方に認められており、建築士の新たな業務として期待されています。

<新規講習>
日時 7月11日(木) 10:00～17:50
会場 大阪府建築士会会議室
定員 40名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込21,060円
郵送申込21,600円

<移行講習>
従来のインスペクター登録者は同調査を実施できませんが、その方々を対象に規定の講義の一部を免除した移行講習です。

日時 6月5日(水) 13:00～17:50
会場 大阪府建築士会会議室
定員 40名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込16,740円
郵送申込17,280円

<申込方法>
日本建築士会連合会HPよりお申込みください。

大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》 6/27・9/4・12/4 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①6月27日(木) ②9月4日(水)
③12月4日(水)

時間 10:00～15:50
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各100名(定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 8/2・1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日程 ①8月2日(金) ②1月29日(水)

時間 9:30～16:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各120名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 7/2・9/4 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 7月2日(火)、9月4日(水)
※10月以降も開催を予定しています。

時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

建築士定期講習 7/24・8/8・9/19・10/28・11/28・12/17 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成28年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

日程・会場・定員

7/24(水) 大阪国際交流センター 200名
※8/8(木) 大阪国際会議場 200名
9/19(木) 大阪国際交流センター 200名
※10/28(月) 大阪国際会議場 200名
11/28(木) 大阪府建築健康会館 90名
※12/17(火) 大阪府建築健康会館 90名

時間 9:15～17:00(各講習日共)
受講料 12,960円(消費税込。事前振込)
申込書配布場所

大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成28年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

申込方法

上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送。

受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/
(注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

ARCHI-4 KANSAI まちづくり提言シンポジウム/01 6/4 CPD2単位

在阪建築四団体(大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会)では、2025年の大阪・関西万博を視野に入れ、未来へと発展させるためのまちづくり提言書「ARCHI-4 KANSAI提言書」を策定しました。その発行にあたり時間・空間・人間をつなぎ関西の閉塞感を打破するきっかけとしてのシンポジウムを企画しました。

提言の6項目について執筆代表のプレゼンのあと四団体代表を加えてのディスカッションを行います。

日時 6月4日(火) 受付17:30～
シンポジウム 18:00～20:00

会場 竹中工務店 いちょうホール
(御堂ビル1階)
大阪市中央区本町4-1-13

定員 120名 参加費 無料

パネリスト 所 千夏 榊原 節子 近本 智行
中嶋 節子 永井 務 上村 晋

コメンテーター

岡本 森廣 (公社)大阪府建築士会 会長
戸田 和孝 (一社)大阪府建築士事務所協会 会長
井上 久実 (公社)日本建築家協会近畿支部 支部長
設楽 貞樹 (一社)日本建築協会 会長

モデレーター 徳岡 浩二

建築士法にもとづく建築技術講習会 京都スタジアム建築技術講習会 7/30 CPD3単位(予定)

本講習会では、「京都スタジアム」に用いられている新技術や現場の工夫などについて本建物の設計担当者・施工担当者から解説していただき、全貌をわかりやすく紹介します。当日の施工状況として、屋根鉄骨建方が完了した段階であり、躯体工事完了後の状況をご覧頂けます。

日時 7月30日(火) 14:00～16:30
会場 京都スタジアム
定員 50名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円 学生1,000円

越井木材工業株式会社 工場見学会 「防火木材・熱処理木材を学ぶ」 6/10 CPD2単位

建築基準法改正により、木材利用の合理化が進展する中、高い木材処理技術をお持ちの越井木材工業株式会社の工場見学会を開催します。

防火木材、熱処理木材、高耐久樹脂含浸積層材等についてのご説明の後、工場内を案内いただき、大阪市内で広範な種類の保存処理木材を一気に理解することが可能です。

日時 6月10日(月) 14:00～15:30
場所 越井木材工業(株)
(大阪市住之江区平林北1-2-158)
定員 30名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 一般1,500円

大阪地域貢献活動センター まちづくり活動助成対象活動募集 6/21締切

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。

募集締切 6月21日(金)

対象とする活動

原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としない活動。

助成額 1件の助成額は30万円を限度
※募集案内は建築士会ホームページに掲載。

建築士の会 いずみ野 本徳寺・本堂改修工事見学会 6/22 CPD1単位(予定)

建築士の会 いずみ野の令和元年度総会と、明智光秀ゆかりの本徳寺・本堂改修工事見学会を併せて実施します。明智光秀は令和2年のNHK大河ドラマの主人公です。光秀に因んだ講話や懇親会も行いますので多数ご参加ください。

日時 6月22日(土) 13:30～ 受付開始
14:00～14:15 総会
14:15～15:00 講話
15:00～16:00 見学会

会長動静

- 4/26 大阪市都市整備局・計画局懇談
プレハブ建築協会関西支部総会
- 5/ 9 連合会賞検討委員会（連合会）
- 5/13 府住宅まちづくり部長懇談
- 5/14 総務企画委員会（連合会）
- 5/15 大阪府収用委員会
- 5/16 日本建築材料協会総会
全日本不動産協会大阪府本部総会
- 5/17 運営部門会議
大阪府安全なまちづくり総会
日本建築家協会近畿支部総会
- 5/21 奈良県建築士会総会
- 5/22 定時総会
- 5/23 正副会長会議（連合会）
釜山広域市建築士会懇親会
- 5/24 大阪府宅地建物取引業協会総会
- 5/25 滋賀県建築士会総会

*連合会：日本建築士会連合会

運営部門

今年度の一級建築士試験の申込状況

今年の一級建築士試験の国会窓口における対面受付を5月13日に締め切りしました。大阪におけるインターネット等による申し込みを含めた学科からの受験申込は2,652名（全国32,942名）、設計製図の受験申込は406名（全国4,831名）でした。

申込者数は昨年と比べ、学科では66名減少（全国649名減少）し、設計製図は7名増加（全国4名減少）しました。

なお、一級建築士学科試験は7月28日（日）、設計製図試験は10月13日（日）に実施します。

運営部門

まちづくり提言書の府・市への説明

在阪建築4団体（本会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会）が関西の活性化を目的として共同で作成した「ARCHI-4 KANSAI 提言書」を、4月26日に大阪市都市整備局・計画局、5月13日に大阪府住宅まちづくり部に説明しました。

説明には4団体の会長・支部長と徳岡委員長が揃って参加し、2025年の国際博覧会を視野に入れ、関西におけるまちづくりの担い手から社会へと発信する「人間・空間・時間をつなぐ未来に向けた6つの提言」について、建築団体の考えを伝え、府・市の幹部と意見交換を行いました。

6月4日18:00には、竹中工務店いちょうホールで提言内容の実現に向けて、ともに語りあい知恵を出し合って活動のきっかけとする「まちづくり提言シンポジウム」を開催します。

なお、提言書は本会ホームページから閲覧していただくことができます。



大阪府住宅まちづくり部への提言書説明
藤本部長（右中央）



大阪市都市整備局・計画局への提言書説明
篠原都市整備局長（右手前から4人目）

運営部門

市町村審議会等への建築士の派遣・推薦状況

本会では、行政や公的機関が設置する審議会や委員会などのメンバーとして、建築等の専門的な知見を持つ会員建築士を現在約200名派遣しており、各組織の円滑な運営を支援しています。

本年度は、吹田市及び田尻町が設置した空家等対策協議会に委員を推薦し、府内の本協議会への派遣者数は26市町村26名となりました。また、建築に関する紛争時の審議や和解斡旋を行う組織である大阪府建設工事紛争審査会の委員として18名、民間総合調停センターの和解斡旋人として3名の推薦を行いました。

その他、大阪府都市景観審議会、堺市都市景観賞審査会、岸和田市都市計画審議会の委員として、それぞれ1名の会員建

築士を推薦しました。

今後も行政等からの支援要請があれば、積極的に適切な人材の推薦を行います。

運営部門

釜山広域市建築士会会長他13名が来阪

韓国の釜山広域市建築士会と1986年に友好交流の覚書を締結して以降、33年に亘り毎年交互に両会が訪問を重ねており、今年度は5月22日の本会総会行事にキム・ギョンマン会長、副会長、国際委員長他全13名をお迎えしました。

総会後の式典において、藤本府住宅まちづくり部長、上村市都市計画局建築指導部長に続きキム会長からご祝辞を頂戴し、今後も日韓両国の建築文化を先導する友好な関係を継続することを両会で確認しました。

翌日は京都の北野天満宮、南禅寺、伏見稲荷などをご案内し、3日目は淀屋橋の日本銀行大阪支店や中央公会堂、総会記念講演者の遠藤克彦氏設計の中之島美術館工事現場など中之島周辺を視察していただきました。

最後に天神橋筋商店街の見学と買物を終えて3日間の旅程を終了し、帰途につかれました。

社会貢献部門

応急危険度判定士連絡網の整備

昨年6月18日に発生した大阪北部地震から1年が経過します。本会の被災支援委員会では有事に備え、携帯電話及びメール・ファックスによる応急危険度判定士550名の連絡網を大阪府内12地域別に整備しており、大阪北部地震の際はこの連絡網が有効に機能し、府の指示により延約70名の判定士に判定活動をお願いしました。

連絡網は、会員の入退会や連絡先の変更、応急危険度判定資格の取得、5年の判定資格期限切れの確認など、常に最新の情報に設定する必要があるため、見直しを行っております。

本会会員におかれましては、判定資格の新規取得や連絡先の変更等がありましたら、事務局までお知らせ下さい。

令和元年度定時総会及び関連行事の報告

開催日：令和元年5月22日（水） 会場：KKR ホテル大阪

令和元年度定時総会は、総正会員数2,438名に対して1/3以上となる947名（うち委任状796名）の出席で定款第17条に照らして成立しました。

■会長所信

会長は、建築士育成はもとより行政や弁護士会と連携した公益活動の推進や、宅建業・不動産業の他業種と協働した事業の拡大を図る方針等を表明されました。



所信を述べる岡本会長

●第1号議案（平成30年度事業報告）

本会が30年度に実施した、公益目的事業、収益事業、その他事業について、運営・研修・事業・建築表彰・建築情報・社会貢献の6つの常設部門別に活動内容を報告し、承認されました。

●第2号議案（平成30年度財務諸表等）
30年度の収支決算は、当初予算に対して約740万円の黒字になりました。

会費収入及び登録閲覧事務、定期講習、CPD制度登録、建築物耐震評価業務などの事業が堅調に推移したことにより、30年度の正味財産期末残高は50,706,762円を報告して承認されました。

さらに、公益法人として必要とされる、①公益目的事業の支出計が全支出計の50%以上、②公益目的事業3区分の各収支が全てマイナス、③公益目的事業収支に収益事業収支の50%を加えてもマイナスであることの3点全てを満足したことを報告しました。

●第3号議案（令和元年度役員選任）

「理事及び監事候補者選考委員会」から推薦された理事候補者24名、監事候補者1名が承認され、令和元年度の役員構成は理事45名、監事2名となりました。

成は理事45名、監事2名となりました。

■式典・表彰式

大阪府知事に代わり藤本秀司住宅まちづくり部長、大阪市長に代わり上村洋都市計画局建築指導部長、キム・ギョンマン釜山広域市建築士会会長にそれぞれご祝辞を賜りました。

その後、名誉会員称号、荣誉・永年会員表彰、CPD制度表彰、第63回大阪建築コンクール、第11回建築人賞の表彰式を行いました。

■記念講演会

遠藤克彦氏（遠藤克彦建築研究所）をお迎えして「近作について～大阪中之島美術館他」をテーマにご講演を頂きました。

■懇親会

山添府建築指導室長、戸田府建築士事務所協会会長、講演者の遠藤克彦氏にご挨拶頂き、会員相互の懇親を深めました。

上海市建築学会との交流促進覚書の調印

日程：平成31年4月8日（月）

4月8日上海市建築学会を訪問し、「交流促進についての確認書」の調印式が行われた。

上海市建築学会からは曹嘉明理事長が出席され、大阪府建築士会からは岡本森廣会長、森田茂夫国際委員長と田中義久の3名、及び立会人として日本建築士会連合会から三井所清典会長と岩田左紅国際委員の全5名が出席した。

調印に先立って大阪・上海の相互紹介を行い、今後の交流の方向性が話し合われた。上海の歴史はさほど古くはないが、欧米各国との国際貿易を基調として栄え北京とは異なったその気風も大阪に似た雰囲気があり、日本の建築団体との書面による覚書は初めてのことで、今後双方からの深い技術交流や情報交換を確認したうえで滞りなく調印は行われた。

調印後、上海市を代表する華東建築設計

研究総院を案内され、事務所風景や作品を紹介された。そして鄭副院長たちとの会談・懇親の場では建築事務所の活動の技術や手法についての相互の質疑応答が行われた。

実務に関して、基本設計・実施設計・工事監理の受注のあり方や若手の育成の問題などは共通点があったが、震災などの災害地への復興協力の在り方などは多少考えが異なるように感じたが、大変意味のある話し合いができたと思う。

和やかな会談の後 上海を後にすることになるのであるが、調印日前の市内観光で、1930年前後のヒューデックを代表とする建築物や黄浦江沿いに建つ近代建築物、その対岸の浦東地区の超高層ビル群の風景も私にとっては非常に興味深いものに思われた。

田中義久（副会長）



△曹理事長と岡本会長

▽調印式出席の皆様





沖縄給油施設新社屋は、那覇空港の第二滑走路増設を視野に入れ、需要の増大する航空燃料の安定供給と防災能力の向上を目指した施設です。設備室を三階に集約し、非常時に備えるとともに、機能的な一階の作業室と施設管理状況を一望できる開放的な執務室が連携して安心・安全を支えています。外観は、タンクやパイプなど燃料供給をイメージしたシリンダー状のモチーフを熱負荷の低減と台風対策のために設置したダクトパネルなどに採用し、航空機を連想させる未来に羽ばたく軽快なデザインに複合させています。

(徳岡浩二)

所在地：沖縄県那覇市
用途：事務所
竣工：2019.03
構造規模：RC造・3F
敷地面積：1,517.12㎡
建築面積：270.42㎡
延床面積：740.87㎡
写真：徳岡設計・
沖電工



神戸の海に近いこの場所は、古くは白砂青松の風景で知られる住宅地で、今なおその雰囲気が感じられます。南と西に隣家が迫り、北は道路をはさんで大きなマンションが建ちます。東の隣家の庭には大きな昔からある松が残ります。そんな環境から、中庭型のプランとし東側の隣家の緑と中庭の緑がつながる配置計画としました。敷地の南側に残る多様な木々を活かそうと、南側のヴォリュームを隅切りして、既存樹を望む窓を設けました。1階にLDK、2階に個室をゾーニングし、分節されながらも上下階のつながりが生まれるよう、リビングに階段のある吹抜けを設け、求心性のある寄棟の屋根をかけました。ほどよく周囲から閉じながら、木々の緑や空の気配を感じることができる開放的な環境を目指しました。

所在地：神戸市
用途：専用住宅
竣工：2019.03
構造規模：木造2階建
敷地面積：199.84㎡
建築面積：68.76㎡
延床面積：124.02㎡
写真：松村芳治

第12回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
建築人賞を実施しています。

■ 審査委員長 乾 久美子



1969 大阪府生まれ
1992 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1996 イエール大学大学院建築学部修了
1996～2000 青木淳建築計画事務所勤務
2000 乾久美子建築設計事務所設立
2000～2001 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手
2011～2016 東京藝術大学美術学部建築科准教授
2016～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授

■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞 （賞状と記念盾）

建築人賞奨励賞 （賞状）

※建築主・施工者には賞状授与

■ 第12回 対象作品

「建築人」2019年1月号から2019年12月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

■ 受賞発表

建築人 2020年7月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係

担当／母倉 政美

TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2019

会報誌『建築人』では、Gallery に掲載する作品を
募集しています。

【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会『建築人』
Gallery 建築作品掲載係まで。

二〇一九年春に開催した「宮脇檀―手が考える／建築家・宮脇檀のドローイング」京都展を好評裡に無事終えることができた。四月二〇日の記念シンポジウムでは、宮脇の著書を数多く編集し、病魔と闘う最後の姿も見届けた作家の松家仁之、「ブルーボックス」の設計担当者として初期の仕事の多くに携わった椎名英三、法政大学宮脇ゼミの元学生としてデザイン・サーベいの始まりとなる一九六六年の倉敷の家並み調査に携わった中山繁信、そして、宮脇と同じく、住宅設計を通して建築を社会に伝える執筆活動を続ける堀部安嗣の四氏が登壇し、その愛すべき人柄と求めた住まいについて熱く語っていた。こうして、没後二十一年の時を越えて若い学生たちが宮脇檀の人と仕事の一端を受け取り、彼らの中で再び生き始めたように思う。感慨深いものがあつた。

ところで、展示された宮脇檀直筆のたくさんのスケッチや透視図の中で、一際目を引いたのが、「平成四年一月吉日宮脇檀」と署名と捺印の入った「姫路市書写の里・美術工芸館」の外観と内観を描いた二枚の透視図である。巡回展の準備中の二〇一八年十二月に、学生たちと建物の見学に行こうと思ひ立ったのも、この魅力的な透視図がきっかけだった。また、おりしも、ここでは、宮脇の父母との三人を紹介する「アプリケと暮らしの美―宮脇晴・綾子・檀親子展」と題する企画展が開催されていた。

姫路駅前からバスに乗り、二〇一五年に大修理を終えた「白鷺（姫路）城」の前を通り過ぎて約二十五分、終点の「書写山ロープウェイ」で下車する。ここは、西の延暦寺と呼ばれる天台宗別格本山円教寺の鎮座する書写山の麓である。そんな由緒ある場所にやや不釣り合いな山陽自動車道の無粋な

高架が横切る茫漠とした道を数分歩くと、竹林の中に大きな瓦屋根が見えてくる。さらに近づく、透視図に描かれたままの竹林に囲まれた建物の全景が姿を現す。

まず目に飛び込んでくるのが、緩やかなカーブを描きながら燻し銀色に輝く本瓦葺きの大らかな屋根と、その上に載るトツプライトのガラス屋根との美しい対比である。また、その下を水平に延びる金属屋根には、左右の出入口をさりげなく示す小さな曲面のデザインが施され、軒下に並ぶ丸柱には、

記憶の建築

松隈 洋

姫路市書写の里・美術工芸館 1994 年
宮脇檀が求めた原風景



南東から見る建物全景



展示室 A を見上げる

企画展として催されていた宮脇親子の三人展では、洋画家の父・晴（一九〇二―八五年）の描いた家族の微笑ましい油絵や、アプリケ作家として世界的にも知られた母・綾子（一九〇五―九五五年）の藍染の木綿や絨など素材にした台所の野菜や果物、魚や草花といった身の回りのものをテーマにした創意あふれる作品と共に、宮脇のスケッチ、模型と写真などが展示されていた。そこからは、敗戦後の厳しい時代にありながらも、芸術家一家の中で伸び伸びと育つ

「早くから事務所を立ち上げた彼は、誰もがそうであるように住宅の作品が多かった。そんな中で『もうびいといっく』と『松川ボックス』は共に家型を変形して低い視線を意識させる傑作だった。多くの建築家はこの頃から『大きなもの』に向かって跳ぶはずなのだが彼はそれをしなかった。（中略）宮脇さんが建築と集団あるいは社会との結びつきに求めたのが『街並づくり』というもう一つの道だった。（中略）『街並コーディネート』である。（中略）ヨーロッパのボンエルフとコモンに感ずるところがあつたという彼は、数々のハードルを越えて何ヶ所かでこれを実現させている。彼が関係したわが国の郊外住宅地は一〇数戸のものから一〇〇〇戸を超えるものまで含めると夥しい数になるという。」

この証言から見えてくるのは、デビュー作の帝人メンズショップの設計料をつぎ込んだ一九六〇年の車での日本一周探訪旅行で「日本の集落や民家の美しさを決定的に知ってしまった」（別冊『新建築宮脇檀』一九八〇年）こと、そして、一九六六年から学生たちと一〇年間続けたデザイン・サーベいで得た若き日の経験の大きさだと思ふ。宮脇は無名の先人たちが営々と築き上げてきた生活の風景を大切にしようとしたのだ。だからこそ、高度経済成長の下で多くの建築家が自らを誇示するような巨大な建築作品を造る中であつて、匿名性の高い良好な住宅地の計画や、この穏やかな杜寺のような博物館を造ろうとしたのではないのか。その眼差しの温かさを忘れずにいたい。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

鮮やかな朱色が塗られてアクセントになっている。こうした造形には、円教寺に残る開山堂や大講堂、護法堂拜殿など、国の重要文化財の伽藍に対する敬意が込められているのだらう。中に入ると、同じく直筆の透視図のように、屋根の形状そのままに、骨太なコンクリート打放しの柱に架け渡された鉄骨梁に覆われた大らかな展示空間が広がる。この屋根の架構とトツプライトは、規模こそ異なるものの、どこか遠く丹下健三の国立屋内総合競技場を想起させる。

した。

府知事賞に選ばれた「龍谷大学大宮キャンパス東翼」は、龍谷大学発祥の地である大宮学舎の一角に建設された。特筆されるのは、対面に建つ国の重要文化財に指定された本館など既存の建物と新しい形での調和を図ろうとしたファサード・デザインの方法である。それらの建物の歴史的要素に敬意を払いつつ、建築的な解釈を施した上で、さらに現代技術によって可能となった洗練さと透明感を加えることに成功している。その対比的なデザインは新たな道筋を切り拓いたものとして共感と賛同を得た。ただ、せっかくファサードで実現した透明性が内部空間までは貫徹できておらず、やや閉じた雰囲気となってしまったことが惜まれる。それでも、今後の規範と成り得る優れた質を備えた建築である。

また、渡辺節賞に選ばれた「HAT house -生きていく住まい-」は、設計者の建築と町に対する思いが十全に盛り込まれた表情豊かな空間づくりに共感が集まった。敷地は六甲山麓の閑静な住宅地にあり、設計者自身のアトリエと住まいを併設したつくりになっている。アトリエを住宅地に開き、住まいに奥行きのある迷路性を創出するために、屋根の架構を45度に傾けるなど、過剰なまでの楽しいアイデアが盛り込まれた内部空間になっ

ている。一方で、玄関まわりの開き方や外観のまとめ方など、住宅地に対する公共空間のさりげない創出と小気味良いデザインが、好ましい雰囲気を出していた。設計者のバランスの良い設計センスと誠実な姿勢に今後の活躍が期待される。尚、構造を担当した審査員の橋本氏は、この作品の審査には加わっていない。

続いて、現地審査の対象で受賞に届かなかった作品について、コメントを記しておきたい。

府知事賞候補の「農人町の町家」は、洗練された作風と高い施工技術によって上質な住まいを実現していた。しかし、昔の町割りと民家の点在する独特な周辺環境に対しての提案が希薄な点に違和感が残った。「と」も、前所有者が残した庭の植栽を活かしながら、簡潔で心地よい住まいが提示されていたが、道路側の妻面に開口部がなく、やはり周辺環境への提案が見られないことが問題とされた。「こんごう福祉センター障害者支援施設かつらぎ・にじょう」は、施設特有の困難な条件を乗り越えて機能的な空間が実現されていたが、24時間体制で働く職員も含めて、この施設で長時間過ごす人々が心を通わせられるような仕掛け(家具、照明器具、素材感や細部のつくり込み)を見つけないことができなかった。「ハハハウス」は、一人暮らしの母のた

めに建てられた高気密・高断熱で、高齢者に配慮したエレベーターやつかまり手すりの設置、開放感とプライバシーを両立した隅切りの開口部など、さまざまなアイデアを盛り込んだ住まいと設計者自身のアトリエの併設だが、割り切りの良すぎる外壁の取扱い方など、もう少し踏み込んだ建築的提案がほしかった。

また、渡辺節賞候補の「デッキプロジェクト」は、宅地造成で生まれた斜面地への大胆な提案として注目されたが、上部の木造部分の構造が明晰ではないこと、1階の擁壁と基礎部分に期待された以上の空間的な工夫が欠けていること、全体にやや仮設的な状態であり、将来性に不安が残るなどの疑問点が出された。そして、「太陽の塔」は、1970年万博の遺構であるモニュメントの再生計画であり、内部空間を蘇らせる困難な仕事として高く評価される一方で、これほどの事業が果たして応募者個人に帰属できるものなのか、についての疑問が拭い切れなかった。

今回の審査で問われたのは、府知事賞における普遍性を併せ持つ優れた設計方法と周辺環境に対する積極的な提案の有無であり、渡辺節賞における自らの設計方法に対する真摯な姿勢と初心的なデザインの魅力だったのだと思う。続く応募と議論の広がり期待したい。

審査風景



第 63 回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会 後援／大阪府

■大阪府知事賞部門	大阪府知事賞	龍谷大学 大宮キャンパス 東覺	岡田泰典・近藤 努・金井田雄介
■渡辺節賞部門	渡辺節賞	HAT house 一生きていく住まいー	阿曾美実

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

募集範囲

2014 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

* 建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

* 竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
完了検査済証発行日現在 39 歳以下

審査委員会

委員長 松隈 洋（京都工芸繊維大学教授）

委員 橋本一郎（エス・キューブ・アソシエイツ）

※50音順 鉦井修一（京都大学名誉教授）

松岡 聡（近畿大学教授）

松田浩三（前大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長）

審査

応募数 大阪府知事賞部門 26 点

渡辺節賞部門 7 点

審査委員会 3 回

●第 1 次審査

2 月 21 日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門 6 点、渡辺節賞部門 3 点を選考

●第 2 次審査

3 月 22 日、29 日 第 1 次審査通過作品について現地審査を 2 日間実施

●最終審査

3 月 29 日 第 2 次審査終了後に実施
大阪府知事賞部門：大阪府知事賞 1 点、
渡辺節賞部門：渡辺節賞 1 点を選出

表彰式

日にち 令和元年 5 月 22 日（水）

本会定時総会式典席上

会場 KKR ホテル大阪

審査経過並びに総評



審査委員長
松隈 洋

図らずも、引き続き審査委員長を務めることになった。それでも、初対面だった前回の審査員 4 人のうち 3 人が続投となり、構造設計者の榊田洋子氏と交代した橋本一郎氏も含め、前回の議論を踏まえる形で、審査は順調に進められた。また、事務局の万全のスケジュール管理と配慮もあって、忌憚のない活発な意見交換が行なわれ、十分な時間をかけた議論を通して、それぞれの賞が持つ意味と、それを選ぶことによって、審査委員会が

今の時代において建築に求められているテーマをどう提示できるのか、という評価基準について、密度の高い議論ができたと思う。その一方で、今回の応募作品の傾向として目についたのは、大規模なものや公共性のある建物が大幅に減り、住宅や小規模な建物が大半を占めた点である。このことが、昨今の厳しさを増す時代状況を反映し、コンクールの応募に値するような建築を手がける機会が減少したのか、と少し気がかりにもなった。

さて、今回は大阪府知事賞部門に 26 点、渡辺節賞に 7 点の応募があり、審査初日に、応募書類による一次審査を行なった。審査員各自による十分な時間をかけた応募書類の自由閲覧を経て、それぞれの判断により現地審査の対象に推薦する作品の投票を行い、その集計結果に基づいて絞込み作業を行なった。そこでは、1 票以上の得票を得たものについて、

推薦した委員の意見を再確認しながら、評価軸を見定める議論を繰り返した。そして、昨年と同じく、最後は審査員全員による合議により、現地審査対象を選定した。

以上のような一次審査の結果、府知事賞 6 点、渡辺節賞 3 点が現地審査の対象となり、2 日間にわたって全 9 作品を巡り歩いた。2 日目の現地審査の終了後、最終審査会を開いた。この二次審査では、現地審査した順に、それぞれの建物の評価について、再度一つ一つ意見交換をしながら確認を行なった。また、その際、書類審査によって判断した一次審査の時点と、現地で設計者の説明を受けた時点での印象の違いや、書類では読みきれなかった周辺環境とのつながりについても意見を求め、評価軸の再検証を進めた。そして、最後は、一次審査と同じく合議により、それぞれ 1 件の受賞作品を決定

■渡辺節賞部門 渡辺節賞 HAT house 一生きていく住まいー

設計者 阿曾芙実（阿曾芙実建築設計事務所）



阿曾芙実
1977年9月生まれ
1996年3月 金沢工業大学工学部建築
学科卒業
2002年3月 金沢工業大学大学院建築
学専攻修了
2002-2006年 小山隆治建築研究所
(2005年 kaichida design+asoにて活動)

2006年 阿曾芙実建築設計事務所設立

2011-2013年 大阪人間科学大学 非常勤講師

[主な建築作品と受賞歴]

2006年 KOBE DRAFT!4 最終選考

2008年 JIA KINKI U-40設計コンペティション六甲山上の展望台
優秀賞

2015年 第10回 関西建築家新人賞

建築位置／神戸市灘区

建物用途／住宅兼事務所

建 築 主／個人邸

施 工 者／大垣林業株式会社

竣工年月／2017 年 9 月

構 造／W 造

階 数／地上 2 階

敷地面積／136.10㎡

建築面積／80.98㎡

延床面積／165.71㎡

撮影 小川重雄

〈審査講評〉斜面地に建つ小規模な個人住宅兼アトリエ。敷地に沿った長方形の外殻に対して45度傾けた軸線に沿って内部空間を構成。これにより様々な効果をもたらしている。玄関前にある三角形の屋外空間は、急坂を上ってきた来訪者が一息つける心地良い場所となり、建物内部では外からの光が斜めに反射することで奥行と立体感が生まれる。屋根の小屋組を斜め方向に設置することで大スパンとなり、リビングを実際より大きな空間として見せているなど。内部の構成は中庭を吹抜けとし、その周りにレベルの異なる床をスキップさせて配置。玄関からアトリエを見ながら土間を通り、奥まった所から階段を徐々に登りながらリビングへ、そして屋上テラスに至る経路の中で、仕上げの異なる床や壁が目に入り、ハッとさせられる場面が多く飽きることがない。その感じ方は住まい手によって様々に異なると思われるが「新しい発見を繰返しながら長くこの住宅で過ごす」という既成の住宅に無い新しい住まい方の提案を試みた意欲的な作品である。

（審査委員 松田浩三）

〈審査講評〉坂を登ってくると、壁面を大きく面取りしたピロティが人を受け止め、そのまま通り土間に連続する印象である。建物の外形から45度振った、くの字の土間とインナーテラスが奥行きを生み、視線と動線が、吹抜け回りの回遊やブリッジ、室内窓によって複雑に折り込まれている。軸の平面操作に加えて、3ヒンジトラスの屋根やスキップフロア、アーチといった一瞬過剰かと思う要素の組み合わせは、設計者の意図する、自由にスペース同士を関係づける重要な役割を担っているように感じる。例えば大きなアーチの奥には、明るい吹抜けと、そこに張り出した踊り場、直上のブリッジがすっぽりと収まり、1階のアトリエの大きな背景となる。意外なスペースや要素の繋ぎの集合が家全体に行き渡り、設計者の言う路地のようなまとまりを巧妙に生みだしている。

（審査委員 松岡 聡）



大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 龍谷大学 大宮キャンパス 東翼

設計者 岡田泰典・近藤 努・金井田雄介（株式会社日建設計）



建築位置／京都市下京区
建物用途／大学
建築主／学校法人龍谷大学
施工者／松井建設株式会社大阪支店
竣工年月／2018年2月

構造／RC・SRC・S造
階数／地上3階
敷地面積／2,859.27㎡
建築面積／1,707.54㎡
延床面積／4,184.50㎡

〈審査講評〉一見すると保存・改修の計画かと見まごうほど落ち着いた外観であり、事実、初めて書類審査で写真を目にしたときは、即座に新築だとは認識できなかった。それほど周囲の歴史的景観と自然な調和をなしている。さらに、現地を訪れてみると、それは単に過去の様子を踏襲しただけのものではなく、現代の材料と技術を駆使しながら創意工夫を織り交ぜて伝統を更新した独創性をも備えていることに気付かされた。中でも、建築のファサードにあたるスチューデントコモンズエリアの鉄とガラスによる空間は、最も力点の置かれた場所であろう。その繊細な骨格は、奥に控えた講義室エリアの重厚なコンクリート躯体とあえて構造を一体にすることで実現されたもので、その透き通るような空間を介して、外部の環境と閉じた内部が緩やかにつながり合っている。歴史や時間に対する敬意と新しい時代への眼差しが品よく合わさった希望を感じさせる建築である。（審査委員 橋本一郎）

〈審査講評〉本作品は猪熊通の北端100mほどの範囲に広がるキャンパス内にある。西本願寺内にあって重要文化財に指定された明治時代の学校建築が複数残っている。この計画では猪熊通を挟んだ通り沿いにこのデザインを展開させて、道空間を意識した街並みとして展開させたことに大きな意義がある。ファサードはアルミの鋳物を多用し、古い擬洋風のデザインを繊細かつシンプルに解釈し直している。かつての寄宿舎棟のデザインを踏襲したことで、生活空間のもつスケールと窓の多いファサードが、通りに親しみやすさをもたらすことに成功している。加えて、オリジナルの壁面をガラスに置き換えることで、今の大学に要請される多様な交流による学びの場を、積極的にまちに「見せる」工夫もなされていることが評価された。（審査委員 松岡 聡）



岡田泰典
1966年1月生まれ
1988年3月 京都大学工学部建築学科卒業
1990年8月 ハリ建築大学ラヴィレット校
1992年3月 京都大学大学院修士課程修了
1992年4月 日建設計に入社
現在 同社設計部門 ディレクター

〔主な建築作品と受賞歴〕

阿南市新庁舎〈日本建築学会作品選集、日本建築家協会優秀建築選〉/KRP9号館〈日本建築学会作品選集、日本建築家協会優秀建築選、グッドデザイン賞、京都デザイン賞〉/INAX大阪ビル〈日本建築学会作品選集、日本建築家協会優秀建築選、グッドデザイン賞〉



近藤 努
1972年5月生まれ
1996年3月 京都工芸繊維大学工学部造形工学科卒業
1998年3月 京都工芸繊維大学大学院修士課程修了
1998年4月 日建設計に入社
現在 同社設計部門 ディレクター

〔主な建築作品と受賞歴〕

新居浜市あかねミュージアム〈日本建築学会作品選集、日本建築家協会優秀建築選〉/新見市立至誠小学校〈日本建築学会作品選集〉/龍谷大学8号館〈日本建築学会作品選集〉/龍谷大学智光館〈日本建築学会作品選集〉/大阪薬科大学D棟〈大阪サステナブル建築賞特別賞〉



金井田雄介
1991年12月生まれ
2010年3月 兵庫県立尼崎工業高等学校建築科卒業
2010年4月 日建設計に入社
現在 同社設計部門 プロジェクトアーキテクト

〔主な建築作品と受賞歴〕

城東区複合施設、ダイキン工業テクノロジー・イノベーションセンター〈日本建築学会近畿支部コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域環境の設計 材料・施工部会賞〉

審査風景



ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 “住宅を設計する仲間達” 委員会

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで
06-6947-1961 info@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2018-19

家づくりの

『住宅
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせく

公設団法人 大阪府建築士会
JUTAKU NAKAMA

トップページ

- 住宅を設計する仲間達とは
- 建築士に任せるメリット
- 具体的な流れ
- まんが ～家作りストーリー～
- 土地の選び方
- 住宅ローンについて
- 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

お知らせ

- パネル展示 & セミナー @ 住まい
セミナー 3月5日
- 「建築家とつくる」
- パネル展示
- 「建築家とつくる」
- パネル展示 & セミ

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼

「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設
けるプロ（建築士 建築設計事務所）
の集まりです。3,000人が在籍する公益
社団法人大阪府建築士会は、住宅一
社団志士大阪府建築士の職能に対する建
設の向上と建築士の発展を目的に、平成8年に「住宅
を設計する仲間達」を設立しました。

にに対して、たくさんの想いをお持ちの方こそ 歓迎します。自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。
風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく癒される住ま
いを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。
吟味した杉で体がよるこぶ空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気
に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。

会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

建築士会

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等に起因する 損害賠償責任	滅失・破損 あり		↑ 2013年度までの けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空気調和設備、住宅の遮音性能)		
		法令基準未達補償 2014年改定 ※補償対象外とすることも可能です。		
		構造基準未達補償 2014年改定		オプション
建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定				オプション

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会
のホームページ

保険制度

2019年度
けんばい

新規加入の方

このチラシは建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。
詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209

引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

2019年3月作成
18-T09671

設計・監理業務等のリスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

理事会報告

令和元年度役員名簿

*は常任理事

会長

岡本森廣 全日本コンサルタント(株)技術部調査役
副会長

上田茂久 (株)上田茂久建築設計工房代表取締役
濱田 徹 (株)イリア関西事務所長

田中義久 (株)中都市建築事務所代表取締役
中嶋節子 京都大学大学院人間・環境学研究所教授

石貫方子 ガンダ(株)リョウコ社ワンシラン事業部戦略課室幹
理事

相原康隆 栗原工業(株)技術統括部技術部課長
荒木公樹 空間計画(株)代表取締役

*飯田英二 (株)IMOデザイン代表取締役
岡崎 雅 (株)アーキプランニングオフィス代表取締役

規工和史 規工川建設(株)代表取締役
北野哲也 堺市監査委員事務局参事

北野幹夫 日本E&R(株)大阪支店確認部主査
木村吉男 杉本建設(株)常務取締役

熊田将男 (株)安井建築設計事務所工事監理部長
黒川宗範 (株)大林組大阪本店建築事業部プロジェクト設計部長

佐賀弥章 佐賀建築まち設計室代表
阪田晴宏 阪田設計工房主宰

*仙入 洋 (株)遊墨設計代表
曾我部千鶴美 W・I・I建築工房二級建築士事務所代表

高原浩之 (株)H・Aデザイン事務所代表取締役
竹田敦子 (株)竹田義建築事務所代表取締役

竹田雅彦 (株)荻田建築事務所取締役
田代加奈 (株)環取締役

異 泰滋 (南)異工務店代表取締役
津村 稔 鹿島建設(株)建築設計部企画管理G設計主査

*津村泰夫 二級建築士事務所住環境設計代表
徳岡浩二 (株)徳岡設計代表取締役社長

*永井 務 (株)竹中工務店設計部設計第4部門設計第G長
中島 薫 ナカジマ建設(株)代表取締役

西野智子 ZERO&N・S二級建築士事務所代表
沼田 巨 (株)昭和设计代表取締役会長

原田雅史 (株)富士建築設計事務所代表取締役
平井浩之 大成建設(株)関西支店設計部長

藤江雅文 (株)藤江建築事務所代表取締役
藤田 忍 大阪市立大学大学院名誉教授

松村和吉 (株)松村設計代表取締役
水谷 取 (株)MS代表取締役

南 勝喜 NAM設計研究所代表
三宅登美恵 (株)登工務店代表取締役

山添光訓 大阪府住宅まじくり部建築指導室長
吉野 俊一 (株)鍛冶田工務店参事

吉村淳二 清水建設(株)関西支店建築設計2部副部長
*芳村隆史 (株)碧・A・O・I建築事務所代表取締役

専務理事
杉原 繁(公社)大阪府建築士会専務理事

監 事
七堂元敏 (財)大阪建築防災センター建築確認検査機構執行理事機構長

尾鍋裕実 尾鍋建築設計事務所所長

建築相談室から三十八

住宅博での相談 1

文 橋本頼幸

本会の相談委員会では、毎週土日に住宅展示場のななば住宅博と堺・泉北住宅博に相談員を派遣しています。午後一時から五時までの間に随時相談を受け付けています。昨年度(平成三十年四月から翌三月まで)の相談日は、台風で中止になった日を除いて一〇二日、相談件数はななば住宅博二六件、泉北住宅博四十九件でした。日常の電話相談と異なり、展示場に来られる方の相談は、これから家を所有しようとする相談が中心ではありますが、そうでない相談も多々あります。誰にどう相談していいかわからずに来られたのではと思われる相談も見られ、建築士の助けが必要な方がまだまだおられることを感じます。今月と来月は、展示場に来られる方の相談内容をご紹介します。私達建築士が相談を受けるのが相応しいもの、直接相談を受けることはできないが何らかの助けになるアドバイスや方針を提示できることもあるのではと考えさせられます。

相談①とりあえず展示場に来てみた

全体の約二割を占めるの相談です。「これから家を建てたい。初めて展示場に来た。モデルルームをどう見たらいいかわからない」「たくさんあって何をどう見たらいいかわからない」「何から手を付けたらいいかわからない」「どんな家が建つかわからないので希望が整理できない」

相談②展示場をのぞいてみたものの

次に多いのが、展示場を実際に見た後に、わからなくなるケースです。展示場の建物は敷地も大きくスケール感が違ったり、イメージするものがなかったりするようです。「展示場は

大きな建物ばかりで実際の土地に合わない」「三十坪ほどの建物を立てたい。サイズが合わない。」「平屋にしたいがモデルルームがない。」「どのメーカーがいいのかわからなくなった。」「

相談③もっと一般的な相談

さらにもっと一般的な相談も多くあります。

「構法の違いを教えてください」「発注方法の違いを知りたい」「建売の購入を計画しているが注意点はなにか?」「十坪の建替え費用はいくらぐらいか?」「マンションにするか戸建てにするか、実家近くの田舎に住むか、市内に住むかまよっている」「地震に強い家を探している」「二世帯住宅の注意点を知りたい」「間口が狭い敷地だが、構法は何がいいか?」「建替えかリフォームか迷っている」「重量鉄骨と鉄筋コンクリートはどちらが丈夫でどちらが安いのか?」「太陽光パネルはフラットがいいか勾配がいいか?」「床暖房はガスがいいか電気がいいか?」「

相談④ハウスメーカーに聞きにくい相談

展示場に出店しているハウスメーカーに聞きにくい、第三者の建築士だから聞ける相談もあります。「某メーカーで見積もりしたが予算が合わない」「メーカーと契約して図面を作成中。現段階で何か気をつけておくことはあるか?」「建築条件が付いている。見積もりが出てきたが高いように思う」

相談は多岐にわたる

当たり前ですが、相談は多岐にわたります。ここに紹介できたのはごく一部ですが、非常にバラエティに富んでいます。第三者の建築士としてアドバイスできるものも多くあります。展示場の相談ではありますが、家を所有することに對する不安や悩みが詰まっています。新築のみならずマンションや建売・中古物件の相談もあります。次月も展示場の相談をご紹介します。

編集後記

笠井志保

新元号「令和」に変わり、早一カ月が経ちました。「令和初の〇〇」という言葉も最近では聞かなくなり、人々の暮らしの中に浸透してきているように思います。

さて、今月二八日・二九日に、日本で初めてG20大阪サミットが開催されます。世界二〇カ国の首脳とWHOやWTOといった国際機関が一堂に会するビックイベントです。サミット会場である、大阪国際見本市会場(インテックス大阪)は、南港にある国内最大級の見本市会場であり、エントランスにあるガラス布を施したアーチ状のゲートがとても印象的です。訪れたことの無い方は、この機会に一度、訪れてみてはいかがでしょうか?

また、二〇二五年には大阪・関西万博が開催されることもあり、大阪が良い意味で変化していく予感がします。「建築人」もリニューアルに向けて大きく変化しようという奮闘しております。より魅力ある冊子となるよう努めますので、皆様には、変わらな

いご愛読をお願い申し上げます。

建築人 6 2019

監修	公益社団法人大阪府建築士会	
	建築情報部門	
編集	建築情報部門『建築人』編集部	
部門長	飯田英二	
委員長	高原浩之	
編集人代表	北 聖志	
編集人	梅田武宏	笠井志保
	河合哲夫	茂籠一之
	曾我部千鶴美	橋本頼幸
	牧野隆義	三谷勝章
	武藤優哉	若江直生
事務局	山本茂樹	母倉政美
印刷	中和印刷紙器株式会社	

UNION

STONE BLAST

金属でありながら地肌なめらか「ストーンブラスト」

1セットから。
仕立ての良い作品を
カスタムメイドする。

この場所には、どうしてもこんなデザインがほしい。
このイメージは、既製品ではかなえられない。
設計者のそんな思いにお応えする、ユニオンのカスタムメイド。
ストーンブラスト、ユニウェルといった
ユニオンが創意工夫を凝らして生み出した
素材や仕上げと設計者の思いを超える品質で
イメージをカタチにします。ご注文は1セットから。
世界に一つだけの表情づくり、ぜひご相談ください。

info@artunion.co.jp



new catalog 2019.4.3 debut.

最新カタログ『アーキズムシリーズ』カタログ請求は www.artunion.co.jp よりお申し込みください。



★

龍谷大学 大宮キャンパス 東翼 日建設計

キャンパスの歴史を未来へ繋ぐ

龍谷大学創設の地である大宮キャンパスにおける校舎の建替計画である。大宮キャンパスには重要文化財の擬洋風建築が多数現存し現在も校舎として使用されている。計画地は西本願寺の参道である猪熊通りを挟んでこの擬洋風建築群に対面する。設計にあたっては、キャンパスの歴史的景観との調和を第一に考えつつも、それらを模倣するのではなく現代性を加味することで新旧が呼応する景観を創出したいと考えた。新しい東翼は南北方向に棟を配し、通りを介して4つの校舎が本館を取り囲む配置とした。また、猪熊通に面する門扉・門柱・堀は、可能な限り既存のまま保存活用し通りの景観を継承した。ファサードは本館を中心とした一体的な景観を形成するために、北翼・南翼のファサードから13尺スパンの列柱・アーチ・長押・上げ下げ窓のリズムやベランダなどの構成を踏襲した。その一方で、建築の材料・工法・形態はその時代を映すものとの考えから、現代の汎用材料である鉄・アルミ・ガラス・コンクリートを用いそれぞれの部材形状を再構築した。上げ下げ窓の欄間はアーチではなく垂直とし、壁は全面ガラスに置き換えてコモンスペースという機能に相応しい透明感のあるものとした。新しい東翼がこの風景に根付くことで、キャンパスの歴史を未来へ繋ぐ架け橋となることを願っている。

撮影：岡本公二・金井田雄介(★)

第63回大阪建築コンクール大阪府知事賞受賞作品



■プロフィール

岡田 泰典（おかだ よしのり）
1992年 京都大学大学院修士課程修了後、日建設計入社
現在 同社設計部門 ディレクター
近藤 努（こんどう つとむ）
1998年 京都工芸繊維大学大学院修士課程修了後、日建設計入社
現在 同社設計部門 ディレクター
金井田 雄介（かないだ ゆうすけ）
2010年 兵庫県立尼崎工業高等学校建築科卒業後、日建設計入社
現在 同社設計部門 プロジェクトアーキテクト

■建物データ

設計：株式会社日建設計
施工：松井建設株式会社大阪支店
所在地：京都市下京区大町125-1
用途：大学
竣工：2018年2月
構造規模：地上3階構造
RC造・S造・SRC造
敷地面積：2,859.27㎡
建築面積：1,719.06㎡
延床面積：4,196.02㎡